

高等学校 令和 5 年度 (2 学年用) 教科: 家庭 科目: 家庭基礎

教科: 家庭 科目: 家庭基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ B 組

教科担当者: (A 組:) (B 組:)

使用教科書: (実教出版 図説家庭基礎)

教科 家庭 の目標:

【知識及び技能】 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活や将来に関心をもち、課題を見出し解決に取り組むことで精神性や人間性を高める。

科目 家庭基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し実践する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
家庭基礎を学ぶにあたって	・学習の意義や学習方法、評価の方法を理解する					1
消費行動を考える 【知識・技能】 契約、販売方法・支払い方法のしくみ、法律を理解する 【思考・判断・表現】 消費生活トラブル、多様な販売方法や支払い方法の利点や欠点を考え、自分に合った消費生活を考える 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ事例をこれからの生活にどう生かすか自分の考えをまとめる	1. 契約の基本的なしくみ、自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解する 2. 販売方法の種類や内容を理解しそれぞれの利点や欠点に気づく 3. さまざまな支払い方法のしくみを理解しお金の計画的管理の大切さに気づく 4. 消費生活にかかわる法律や制度を理解する ・使用教材・教材 プリント、DVD	【知識・技能】 契約、多様な販売方法や支払い方法のしくみ、消費生活にかかわる法律が理解できる 【思考・判断・表現】 消費生活におけるトラブル、多様な販売方法や支払い方法の利点や欠点に気づき自分に合った消費生活を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の生活と学んだ事例を結び付けこれらどう役立てるか考えまとめることができる	○	○	○	6
1 学期 経済的に自立する 【知識・技能】 家計の収支や給与明細のしくみ、社会保障の役割や特徴を理解する 【思考・判断・表現】 現在および将来の金銭管理を考える 社会保障の意義を理解し自分も社会を支える一員であることを考える 【学びに向かう力、人間性等】 家計や社会保障、貯蓄などに興味をもって調べたり発表できる	1. 家計の収入・支出の特徴を理解する 2. 給与明細の見方を理解する 3. 社会保障のしくみから社会とのつながりや社会的義務を理解する ・教材—プリント	【知識・技能】 家計の収支の特徴や給与明細のしくみ、社会保障の役割や特徴が理解できる 【思考・判断・表現】 現在および将来の金銭管理について考え改善点を見つけたことができる 社会保障が果たす役割、社会の助け合いについて考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 家計シミュレーションや給与明細に興味をもち課題解決に取り組める	○	○	○	2
被服製作 エプロンの製作 【知識・技能】 エプロンの構成や製作手順を理解する ミシンやアイロンの使い方を理解し安全に使う 【思考・判断・表現】 製作の反省点や課題を見つけりレポートにまとめる 【学びに向かう力、人間性等】 わからない点はクラスメートと協力し欠席せず期日までに提出する	1. エプロンの役割や構成を理解し、製作の手順にしたがい作品を完成させる 2. アイロンのしくみ、かけ方を理解し安全に実習する ・教材—プリント、エプロンキット	【知識・技能】 エプロンの構成や製作手順を理解し進めることができる ミシンやアイロンの使い方を理解し安全に使うことができる 【思考・判断・表現】 製作の反省点や課題を見つけりレポートにまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 欠席せず実習し期日までに提出できる クラスメートと協力し合って完成させることができる	○	○	○	14
定期考査						1

2 学 期	<p>衣生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 繊維・布の特徴から衣服への理解を深める 衣類の表示や洗剤のはたらきを理解する 衣生活の国際化と社会への影響を理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 衣類の表示を読み適切な洗濯方法や保管方法を考える 衣生活の国際化の課題を通じて自分のこれからの行動を考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自分の衣生活に反映させ実践する</p>	<p>1. 衣服に使われる繊維の種類と特徴を知り衣服の特徴との関係を理解する 2. 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきを理解する 3. 衣類の表示を学び適切な洗濯や管理を理解する 4. 衣生活と環境や資源のつながりを理解しこれからの衣生活を考える</p> <p>教材プリント、DVD</p>	<p>【知識・技能】 繊維・布の構造や特徴が衣服の特徴につながることを理解している 衣類の表示や洗剤のはたらきを理解できる 衣生活の国際化が社会に影響を与えていることを理解できる</p> <p>【思考・判断・表現】 衣類の表示を読み適切な洗濯方法や保管を考慮することができる 衣生活の国際化の課題を見出し自分の行動を見直すことができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習したことを自分の衣生活に反映させ実践することができる</p>	○	○	○	4
	<p>食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 栄養素の基礎知識や1日に必要な栄養素、食品の表示を理解する 世界および日本の食料事情や課題を理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 栄養バランスのとれた食事計画を立てる 食品の表示から適切な選択や衛生的な管理を考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の食生活をの課題を見出し解決策を考え実践する</p>	<p>1. 食と健康のかかわり、現在の食生活の変化と問題点を理解する 2. 5大栄養素とからだのつながり、栄養素相互のかかわりを理解する 3. 食品の品質表示の見方を知り食品を適切に選択することができる 4. 食中毒の種類や予防法を理解し衛生的な調理や食事管理ができる 5. 私たちの食生活が世界とつながっていることを理解しこれからの自分の食生活を考える 6. 健康な生活を営むためにどのくらいの栄養が必要かを学び自分の栄養状態を考える 7. 食事バランスガイドの見方を理解しバランスの良い食事を考える</p> <p>教材プリント、DVD</p>	<p>【知識・技能】 栄養素の基礎知識やからだのつながり、1日に必要な栄養素を理解できる 食品の表示を正しく読み取ることができる 世界全体および日本の食料事情や課題を理解できる</p> <p>【思考・判断・表現】 栄養バランスのとれた食事計画を立てることができる 食品の表示から適切な選択や衛生的な管理を考慮することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の食生活を振り返り課題を見つけ解決策を実践できる</p>	○	○	○	8
	<p>調理</p> <p>【知識・技能】 調理技術の基礎を理解し実践する</p> <p>【思考・判断・表現】 実習の反省や改善点をレポートにまとめ次に生かす</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 クラスメートと協力し実習する 学んだ内容を家庭で実践し力をつける</p>	<p>1. 調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる 2. 実践したことをレポートにまとめ、今後の生活への生かし方を考える</p> <p>教材プリント、調理食材</p>	<p>【知識・技能】 調理技術の基礎や理論を理解し実践できる</p> <p>【思考・判断・表現】 実践の反省や改善点をレポートにまとめ次に生かすことができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身支度をととのえ時間を守り積極的に実習にのぞむことができる</p>				6
	<p>自分らしい生き方と家族</p> <p>【知識・技能】 青年期の発達課題を理解し課題に取り組む 社会の変化と家族の関係性を理解し現代の家族の課題を理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 青年期の発達課題と向き合い自立できていない点の克服法を考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の動きを新聞やネットニュースなどから積極的に収集し理解し考えをまとめる</p>	<p>1. 青年期の発達課題を理解し現在の自分の達成度を考える 2. 社会の変化と家族の関係や現代の家族の課題を理解する 3. 家族に関する法律、その理念や現在の動きを理解する</p> <p>教材プリント、新聞、DVD</p>	<p>【知識・技能】 人の一生における青年期の位置づけや発達課題を理解できる 社会の変化と家族の関係性を理解し現代の家族の課題が理解できる 家族に関する法律が理解できる</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の家族の課題や法律における現在の動きに対し自分の考えをまとめることができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の発達課題と向き合い自立できていない点を把握し克服法を考えられる</p>				4
	<p>子どもとかわる</p> <p>【知識・技能】 子どものおおまかな発達を理解する 親の役割、子どもを育てる社会の環境・手助けの重要性を理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの健康や安全を守るために何が必要か考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 グループ討論等で活発に意見交換できる</p>	<p>1. 子どもの身体の成長の流れ、保育や人とのかかわりの重要性を理解する 2. 子どもの健康や安全対策について理解する 3. 子どもの発達における遊びの重要性を理解する 4. 子育てにおける現代社会の問題点を理解する</p> <p>・教材プリント、新聞、折り紙、絵本</p>	<p>【知識・技能】 子どもの発達・発達を学び社会性が育っていく過程などを理解できる 子どもの発達には保育や人とのかかわりが重要であることを理解できる 親の役割、子どもを育てる社会の環境・手助けの重要性を理解できる</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの事故事例から子どもの安全を守る方法を考えることができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもにまつわる社会問題をグループで調べ活発に意見交換できる</p>				4
	定期考査						1

3 学 期	<p>高齢者</p> <p>【知識・技能】 高齢者の心身の変化や生活を理解する 高齢者介護、介護施設や公的介護保険について理解する</p> <p>【思考・判断・表現】 高齢者の心身や高齢者にまつわる社会問題から高齢者とのふれあいを考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事やネットニュースなどを活用し社会問題を自ら調べる</p>	<p>1. 高齢者の心身の変化と生活を知り高齢者への理解を深める 2. 高齢者のサポートと介護について理解する 3. 高齢者を取り巻く社会の課題について理解する</p> <p>・教材プリント、DVD</p>	<p>【知識・技能】 高齢者の心身の変化や個人差、生活が理解できる 高齢者の介護、介護施設や介護保険について理解できる</p> <p>【思考・判断・表現】 高齢者を取りまく社会の課題を理解し自分の意見をまとめることができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 新聞記事やネットニュースから高齢者を取りまく問題を探し出し解決策を考えることができる</p>				3
	<p>住生活</p> <p>【知識・技能】 住まいの機能、快適・安全に住まうための要素を理解する 自立に必要な住まいの基礎知識を身につける</p> <p>【思考・判断・表現】 自分が住みたい家の条件や間取りを考え調べまとめる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報誌やインターネットを使い情報を正しく読み取る力を培う</p>	<p>1. 住まいの機能を理解する 2. 基本的な図面の読み方ができるようになる 3. 快適・安全な住環境に必要な要素を理解する 4. 住まいの賃貸借についてその方法や留意点を理解する</p> <p>・教材プリント、DVD、住宅情報誌</p>	<p>【知識・技能】 住まいの機能、快適・安全に住まうための要素を理解できる 自立に必要な住まいの基礎知識が身についている</p> <p>【思考・判断・表現】 自分が住みたい家の条件や間取りを考えまとめることができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報誌やインターネットを使い積極的に自分が住みたい物件を探すことができる</p>	○	○	○	4
	<p>手芸による小物製作</p> <p>【知識・技能】 スウェーデン刺繍の基本技法、ミシンやアイロンのかけ方を習得する</p> <p>【思考・判断・表現】 自ら図案や色を考え表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より良い作品づくりのために欠席せず集中して取り組む</p>	<p>1. スウェーデン刺繍の基礎を学び実践する 2. 自分でデザインや色を工夫する 3. ミシンやアイロンの使い方を復習する 4. レポートをまとめ自らの実践を振り返る</p> <p>・教材プリント、刺繍キット</p>	<p>【知識・技能】 スウェーデン刺繍の基本技法を理解し習得できる ミシンやアイロンのかけ方を実践できる</p> <p>【思考・判断・表現】 基本から発展させ自分でデザインの工夫ができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 より良い作品づくりのために欠席せず集中して取り組み期限を守って提出できる</p>	○	○	○	11
	定期考査						1
						合計	
						70	